

当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | |
|--------|---|
| 商品分類 | 追加型投信／国内／株式 |
| 信託期間 | 2015年2月6日から2025年2月5日までです。 |
| 運用方針 | 日本の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）株式を主要投資対象とし、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 |
| 主要投資対象 | 日本の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）株式を主要投資対象とします。 |
| 投資制限 | 株式への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資は行いません。 |
| 分配方針 | 年2回、2月および8月の各月の5日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。 |

運用報告書(全体版)

ニッポン成長株オープン (愛称 一等星)

【2015年8月5日決算】

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

皆様の「ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)」

は、2015年8月5日に第1期決算を迎えましたので、設定来の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

 **岡三アセットマネジメント**

〒104-0028 東京都中央区八重洲2-8-1

お問い合わせは弊社カスタマーサービス部へ
フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

【ホームページ】

<http://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。
※機種により本サービスをご利用いただけない場合があります。



○設定以来の運用実績

| 決算期 | 基準価額 (分配落) | 税 分 配 金 | | 期 騰 落 中 率 | | TOPIX (東証株価指数) (参考指数) | | 株 組 入 比 率 | 株 先 物 比 率 | 純 資 産 額 |
|--------------------|---------------|---------|---|-----------|--------|--------------------------|--------|-----------|-----------|--------------|
| | | 分 | 配 | 騰 | 落 | 騰 | 落 | | | |
| (設定日) 2015年2月6日 | 円 10,000 | | | 円 — | % — | ポイント 1,410.11 | % — | % — | % — | 百万円 3,919 |
| 1期(2015年8月5日) | 10,415 | | | 300 | 7.2 | 1,665.85 | 18.1 | 95.7 | — | 7,896 |

(注) 基準価額および分配金（税込み）は1万口当たり、基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) 設定日の基準価額は1万口当たりの当初設定元本額です。設定日の純資産総額は当初設定元本総額です。

(注) 参考指数はTOPIX（東証株価指数）です。設定日の参考指数は設定日前営業日の終値です。同指数は参考指数であり、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

○当期中の基準価額と市況等の推移

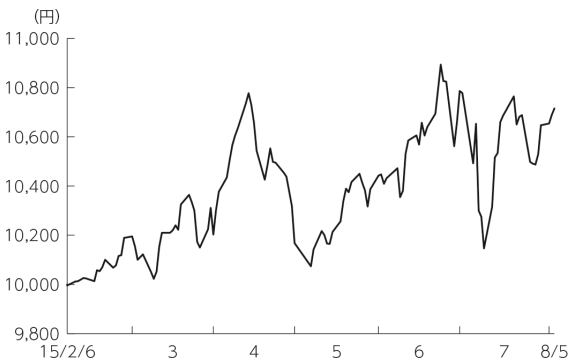
| 年 月 日 | 基準価額 | 騰 落 率 | TOPIX (東証株価指数) (参考指数) | | 株 組 入 比 率 | 株 先 物 比 率 |
|--------------------|-------------|--------|--------------------------|--------|-----------|-----------|
| | | | 騰 | 落 | | |
| (設定日) 2015年2月6日 | 円 10,000 | % — | ポイント 1,410.11 | % — | % — | % — |
| 2月末 | 10,189 | 1.9 | 1,523.85 | 8.1 | 83.4 | — |
| 3月末 | 10,311 | 3.1 | 1,543.11 | 9.4 | 93.9 | — |
| 4月末 | 10,318 | 3.2 | 1,592.79 | 13.0 | 95.8 | — |
| 5月末 | 10,387 | 3.9 | 1,673.65 | 18.7 | 93.6 | — |
| 6月末 | 10,662 | 6.6 | 1,630.40 | 15.6 | 95.3 | — |
| 7月末 | 10,647 | 6.5 | 1,659.52 | 17.7 | 92.8 | — |
| (期 末) 2015年8月5日 | 10,715 | 7.2 | 1,665.85 | 18.1 | 95.7 | — |

(注) 期末基準価額は1万口当たり分配金（税込み）込み、騰落率は設定日に対する率です。

◎基準価額の推移

設定時に10,000円で運用を開始した基準価額は、当期末に10,415円となりました。当期末に300円（税込み）の収益分配を行いましたので、分配金を含めた値上がり額は715円となりました。

基準価額の推移



(注) 基準価額は1万円当たり、設定日の基準価額は1万円当たりの当初設定元本額です。期末の基準価額は分配金（税込み）込みです。

◎基準価額の変動要因

(主なプラス要因)

- ・業種配分ではサービス業、小売業、不動産業などが基準価額にプラスに寄与しました。
- ・個別銘柄ではクオール、オープンハウス、セプテーニ・ホールディングスなどが基準価額にプラスに寄与しました。

(主なマイナス要因)

- ・業種配分では情報・通信業、電気機器、機械などが基準価額にマイナスに寄与しました。
- ・個別銘柄ではファインデックス、ワコム、gumiなどが基準価額にマイナスに寄与しました。

◎投資環境（市況）

国内株式市場は、景気回復期待、企業業績の拡大期待、欧米市場に比べて割高感のないバリュエーションなどを背景に、2015年6月下旬にかけて上昇基調で推移しました。その後は、米国の年内利上げ観測や、ギリシャ情勢に対する懸念、中国の株式市場の急落など不透明要因に対する警戒感が強まり、国内株式市場は一進一退の動きとなりました。

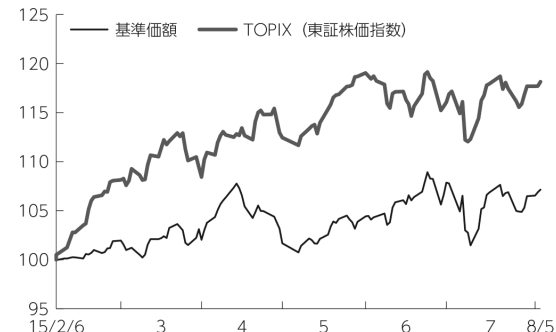
◎ポートフォリオについて

当ファンドの運用につきましては、企業の利益成長ポテンシャルに着目し銘柄選別を行いました。コンビニエンスストアなど異業種との提携を通じた調剤薬局の出店攻勢により今後の業績が拡大すると見込まれるクオールや、スマートフォン向け広告配信需要増加の恩恵を受けると期待されるセプテーニ・ホールディングス、インターネット通販事業者との取引拡大により、工場など作業現場向け工具の販売が増加すると見込まれるトラスコ中山などを組み入れました。

◎参考指数との比較

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、分配金も考慮した当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数としているTOPIX（東証株価指数）の騰落率を下回りました。

基準価額とTOPIX（東証株価指数）の推移



(注) 上記グラフは、当初設定元本額および設定日前営業日のTOPIX（東証株価指数）（参考指数）を100として指数化したものです。期末の基準価額は分配金（税込み）込みです。

◎分配金

年2回、2月5日および8月5日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象収益とします。分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。

当期の分配金につきましては、1万円当たり300円（税込み）とさせていただきます。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

(分配原資の内訳)

(単位：円、1万口当たり、税込み)

| 項 目 | 第1期 |
|--------------------|-------------------------|
| | 2015年2月6日～ 2015年8月5日 |
| 当期分配金 (対基準価額比率) | 300 2.800% |
| 当期の収益 | 300 |
| 当期の収益以外 | — |
| 翌期繰越分配対象額 | 415 |

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◎今後の運用方針

国内株式市場は、米国の利上げ観測など外部環境の不透明要因に対する警戒感から一時的に調整することも想定されますが、国内景気の回復や企業業績の拡大が続くことに加え、バリュエーションに割安感があると考えられることなどから、中長期的には緩やかに上昇すると考えております。

当ファンドの運用につきましては、高い技術力、優れた商品開発力、特徴あるビジネスモデル、事業構造の改革などにより、利益成長が期待される企業を選別して投資を行います。

当面は、新興国経済の成長鈍化などが懸念されるため、海外売上など外需依存度の大きい銘柄の投資比率を抑制し、国内の雇用や所得の改善など事業環境の好転による業績拡大が期待される内需関連銘柄や、独自のビジネスモデルで成長を図っている銘柄など、中長期的な利益成長ポテンシャルが高いと考えられる銘柄を組み入れる方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2015年2月6日～2015年8月5日）

| 項 目 | 当 期 | | 項 目 の 概 要 |
|-----------------------|--------|-----------|---|
| | 金 額 | 比 率 | |
| | 円 | % | |
| (a) 信 託 報 酬 | 86 | 0.825 | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 |
| （ 投 信 会 社 ） | （ 42 ） | （ 0.400 ） | 委託した資金の運用の対価 |
| （ 販 売 会 社 ） | （ 42 ） | （ 0.403 ） | 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 |
| （ 受 託 会 社 ） | （ 2 ） | （ 0.021 ） | 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価 |
| (b) 売 買 委 託 手 数 料 | 30 | 0.284 | (b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 |
| （ 株 式 ） | （ 30 ） | （ 0.284 ） | 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| (c) そ の 他 費 用 | 1 | 0.005 | (c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 |
| （ 監 査 費 用 ） | （ 1 ） | （ 0.005 ） | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| 合 計 | 117 | 1.114 | |
| 期中の平均基準価額は、10,419円です。 | | | |

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切り捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2015年2月6日～2015年8月5日）

○売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

株式

| | | 買 付 | | 売 付 | |
|---|----|-----------------|-------------------|-------|-----------|
| | | 株 数 | 金 額 | 株 数 | 金 額 |
| 国 | 上場 | 千株 | 千円 | 千株 | 千円 |
| 内 | | 9,339 (241) | 9,567,555 (-) | 2,450 | 2,455,719 |

(注) 金額は受渡代金です。

(注) 単位未満は切り捨てです。

(注) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

（2015年2月6日～2015年8月5日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

| 項 目 | 当 期 |
|---------------------|--------------|
| (a) 期中の株式売買金額 | 12,023,274千円 |
| (b) 期中の平均組入株式時価総額 | 6,353,269千円 |
| (c) 売買高比率 (a) / (b) | 1.89 |

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

○利害関係人との取引状況等

（2015年2月6日～2015年8月5日）

利害関係人との取引状況

| 区 分 | 買付額等 A | うち利害関係人 との取引状況B | $\frac{B}{A}$ | 売付額等 C | うち利害関係人 との取引状況D | $\frac{D}{C}$ |
|-----|-----------|--------------------|---------------|-----------|--------------------|---------------|
| | | | | | | |
| 株式 | 9,567 | 3,618 | 37.8 | 2,455 | 876 | 35.7 |

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

| 項 目 | 当 期 |
|------------------|----------|
| 売買委託手数料総額 (A) | 19,403千円 |
| うち利害関係人への支払額 (B) | 7,274千円 |
| (B) / (A) | 37.5% |

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは岡三証券です。

○組入資産の明細

(2015年8月5日現在)

国内株式

| 銘柄 | 当 期 末 | |
|-----------------------|-------|---------|
| | 株 数 | 評 価 額 |
| | 千株 | 千円 |
| 建設業 (4.5%) | | |
| 大豊建設 | 142 | 73,698 |
| 青木あすなろ建設 | 102.5 | 85,690 |
| ユアテック | 178 | 181,382 |
| 化学 (13.6%) | | |
| クレハ | 20 | 8,500 |
| セントラル硝子 | 250 | 138,250 |
| 関東電化工業 | 160 | 142,560 |
| 堺化学工業 | 283 | 116,030 |
| 旭有機材工業 | 100 | 25,600 |
| 積水化成工業 | 243 | 107,163 |
| 日油 | 181 | 185,344 |
| サカタインクス | 134.4 | 132,384 |
| 小林製薬 | 6.2 | 64,046 |
| デクセリアルズ | 15 | 23,400 |
| 寺岡製作所 | 90 | 45,720 |
| 三光合成 | 95 | 41,515 |
| 医薬品 (1.4%) | | |
| ベプチドリーム | 34 | 106,930 |
| 石油・石炭製品 (1.2%) | | |
| MORESCO | 46 | 93,978 |
| 鉄鋼 (1.8%) | | |
| 東京鐵鋼 | 197 | 117,018 |
| 東洋鋼板 | 29.4 | 15,170 |
| 金属製品 (1.9%) | | |
| 東京製鋼 | 649 | 144,078 |
| 機械 (1.9%) | | |
| オカダアイヨン | 59.1 | 68,615 |
| フロイント産業 | 26.6 | 38,330 |
| ローツェ | 45 | 32,670 |
| 電気機器 (6.5%) | | |
| 山洋電気 | 77 | 61,600 |
| サン電子 | 78.3 | 118,467 |
| ヨコオ | 111.2 | 78,952 |

| 銘柄 | 当 期 末 | |
|-----------------------|-------|---------|
| | 株 数 | 評 価 額 |
| | 千株 | 千円 |
| 日本フェンオール | 35.7 | 57,869 |
| 山一電機 | 155.7 | 171,892 |
| 輸送用機器 (2.5%) | | |
| 新明和工業 | 146 | 187,318 |
| 精密機器 (1.4%) | | |
| 川澄化学工業 | 108.8 | 103,360 |
| その他製品 (3.4%) | | |
| フルヤ金属 | 22 | 54,956 |
| サマンサタバサジャパンリミテッド | 82.6 | 89,455 |
| コクヨ | 88.4 | 116,069 |
| 情報・通信業 (16.0%) | | |
| ファインデックス | 60.9 | 78,073 |
| モバイルクリエイト | 107.6 | 68,971 |
| じげん | 238.9 | 180,608 |
| ディー・エル・イー | 155.5 | 148,347 |
| フィックスターズ | 42.5 | 125,375 |
| アイリッジ | 1.2 | 6,828 |
| ソースネクスト | 160 | 105,920 |
| クレスコ | 42.1 | 85,294 |
| デジタルガレージ | 82 | 146,124 |
| フュージョンパートナー | 68.2 | 49,581 |
| 日本BS放送 | 95.4 | 103,890 |
| エムティーアイ | 134.9 | 112,101 |
| 卸売業 (4.8%) | | |
| あい ホールディングス | 77 | 162,855 |
| トラスコ中山 | 45 | 203,400 |
| 小売業 (6.8%) | | |
| クオール | 115.1 | 242,976 |
| アスラポート・ダイニング | 100 | 68,100 |
| マーケットエンタープライズ | 13 | 47,515 |
| 富士山マガジンサービス | 7.5 | 39,375 |
| ホットランド | 28.6 | 113,399 |
| 不動産業 (4.5%) | | |
| オープンハウス | 83.4 | 170,553 |

ニッポン成長株オープン（愛称 一等星）

| 銘柄 | 当 期 末 | |
|----------------------|-------|---------|
| | 株 数 | 評 価 額 |
| | 千株 | 千円 |
| シーアールイー | 19.6 | 59,682 |
| タカラレーベン | 176.6 | 110,728 |
| サービス業 (27.8%) | | |
| エス・エム・エス | 114.8 | 202,162 |
| クックパッド | 76.2 | 194,767 |
| 学情 | 89 | 112,585 |
| スタジオアリス | 56.6 | 127,350 |
| アウトソーシング | 60 | 143,520 |
| 一休 | 72.1 | 194,165 |
| セブテーニ・ホールディングス | 117.5 | 214,320 |
| ネクシィーズ | 78.2 | 75,619 |
| エイジス | 15.9 | 58,035 |

| 銘柄 | 当 期 末 | |
|---------------|------------------|-----------|
| | 株 数 | 評 価 額 |
| | 千株 | 千円 |
| クリーク・アンド・リバー社 | 160.5 | 101,115 |
| エフアンドエム | 110 | 57,420 |
| Ke e P e r 技研 | 35.5 | 92,158 |
| デザインワン・ジャパン | 15.2 | 93,480 |
| バクトル | 64.4 | 130,345 |
| キャリアリンク | 37 | 88,948 |
| ライドオン・エクスプレス | 76.8 | 109,747 |
| 三協フロンテア | 104 | 103,480 |
| 合 計 | 7,130 | 7,556,931 |
| | 株数・金額 銘柄数<比率> | <95.7%> |

(注) 業種・銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率です。

(注) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) 評価額の単位未満は切り捨てです。

○投資信託財産の構成

(2015年8月5日現在)

| 項 目 | 当 期 末 | |
|--------------|-----------|-------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| | 千円 | % |
| 株式 | 7,556,931 | 90.8 |
| コール・ローン等、その他 | 763,068 | 9.2 |
| 投資信託財産総額 | 8,319,999 | 100.0 |

(注) 評価額の単位未満は切り捨てです。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2015年8月5日現在）

| 項 目 | 当 期 末 |
|-----------------|----------------|
| | 円 |
| (A) 資産 | 8,319,999,134 |
| コール・ローン等 | 643,080,771 |
| 株式(評価額) | 7,556,931,600 |
| 未収入金 | 111,982,906 |
| 未収配当金 | 8,003,681 |
| 未収利息 | 176 |
| (B) 負債 | 423,265,893 |
| 未払金 | 127,090,346 |
| 未払収益分配金 | 227,458,112 |
| 未払解約金 | 14,301,859 |
| 未払信託報酬 | 54,064,567 |
| その他未払費用 | 351,009 |
| (C) 純資産総額(A-B) | 7,896,733,241 |
| 元本 | 7,581,937,072 |
| 次期繰越損益金 | 314,796,169 |
| (D) 受益権総口数 | 7,581,937,072口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 10,415円 |

(注) 運用報告書作成時点では、監査未了です。

(注) 計算期間末における1口当たり純資産額は1.0415円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は3,919,310,563円、期中追加設定元本額は4,251,959,215円、期中一部解約元本額は589,332,706円です。

○損益の状況（2015年2月6日～2015年8月5日）

| 項 目 | 当 期 |
|------------------|----------------|
| | 円 |
| (A) 配当等収益 | 43,436,385 |
| 受取配当金 | 43,396,787 |
| 受取利息 | 39,598 |
| (B) 有価証券売買損益 | 420,933,140 |
| 売買益 | 978,844,162 |
| 売買損 | △557,911,022 |
| (C) 信託報酬等 | △ 54,415,576 |
| (D) 当期損益金(A+B+C) | 409,953,949 |
| (E) 追加信託差損益金 | 132,300,332 |
| (配当等相当額) | (2,333,941) |
| (売買損益相当額) | (129,966,391) |
| (F) 計(D+E) | 542,254,281 |
| (G) 収益分配金 | △227,458,112 |
| 次期繰越損益金(F+G) | 314,796,169 |
| 追加信託差損益金 | 132,300,332 |
| (配当等相当額) | (2,333,941) |
| (売買損益相当額) | (129,966,391) |
| 分配準備積立金 | 182,495,837 |

(注) 損益の状況の中で、(B)有価証券売買損益は期末の評価替えによるものを含みます。(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額、監査費用を含めて表示しています。(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

| 決算期 | 第1期 |
|------------------------------|--------------|
| (a) 配当等収益(費用控除後) | 38,348,529円 |
| (b) 有価証券等損益額(費用控除後・繰越欠損金補填後) | 371,605,420円 |
| (c) 信託約款に規定する収益調整金 | 132,300,332円 |
| (d) 信託約款に規定する分配準備積立金 | -円 |
| 分配対象収益(a+b+c+d) | 542,254,281円 |
| 分配対象収益(1万口当たり) | 715円 |
| 分配金額 | 227,458,112円 |
| 分配金額(1万口当たり) | 300円 |

用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

| 項目 | 説明 |
|---------------------|---|
| 資産 | ファンドが保有する財産の合計です。 |
| コール・ローン等 | 金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。 |
| 各種有価証券等(評価額) | 組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。 |
| 未収入金 | 入金が予定されている有価証券の売却代金などです。 |
| 未収配当金 | 入金が予定されている株式の配当金等です。 |
| 未収利息 | 入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。 |
| 負債 | 支払いが予定されている金額の合計です。 |
| 未払収益分配金 | 期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。 |
| 未払解約金 | 支払いが予定されている解約金です。 |
| 未払信託報酬 | 支払いが予定されている信託報酬の額です。 |
| その他未払費用 | 支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。 |
| 純資産総額(資産－負債) | ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。 |
| 元本 | ファンド全体の元本残高です。 |
| 次期繰越損益金 | 純資産総額と元本の差額(翌期に繰り越す損益金の合計額)です。 |
| 受益権総口数 | 受益者が保有する受益権口数の合計です。 |
| 1(万)口当たり基準価額 | 1(万)口当たりのファンドの時価です。 |

用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

| 項目 | 説明 |
|-----------------|---|
| 配当等収益 | ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。 |
| 受取配当金 | 保有する株式等の配当金等です。 |
| 受取利息 | 債券、コール・ローン等の利息等です。 |
| 有価証券売買損益 | 有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。 |
| 売買益 | 売買益と期末評価益の合計です。 |
| 売買損 | 売買損と期末評価損の合計です。 |
| 信託報酬等 | 信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それに掛かる消費税等相当額です。 |
| 当期損益金 | 当期における収支合計です。 |
| 前期繰越損益金 | 前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。 |
| 追加信託差損益金 | 受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。 |
| (配当等相当額) | 配当等に相当する額です。 |
| (売買損益相当額) | 売買損益に相当する額です。 |
| 計 | 収益分配前の期中の収支の総合計です。 |
| 収益分配金 | 期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。 |
| 次期繰越損益金 | 翌期に繰り越す損益金の合計です。 |
| 追加信託差損益金 | 翌期に繰り越す追加信託差損益金です。 |
| (配当等相当額) | 配当等に相当する額です。 |
| (売買損益相当額) | 売買損益に相当する額です。 |
| 分配準備積立金 | 翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。 |
| 繰越損益金 | 翌期に繰り越す損益金の額です。 |

○分配金のお知らせ

| | |
|-----------------|------------------------------|
| 1 万口当たり分配金（税込み） | 300円 |
| 支払開始日 | 2015年8月11日（火）までの間に支払いを開始します。 |
| お支払場所 | 取得申込みを取扱った販売会社の本支店 |

〈お知らせ〉

弊社は、資産運用・リスク管理態勢の高度化等への取り組みを一段と強化すべく、2015年4月1日付けで運用部門に関し以下の組織変更を行いました。

- ①運用企画部の新設
- ②投資調査部を投資情報部に改称
- ③運用各部を投資対象資産別に再編
- ④トレーディング部を運用本部から分離